

北斗通信

(令和7年8月号)

1. 埼玉県	令和9年度入試からコンピュータ採点導入へ	1
資料①	埼玉県 9年度入試からの解答用紙	5
2. 東京都	令和7年3月公立中学卒業生の進路状況	2
資料②	令和7年3月公立中学卒業生の進路状況	10
3. 千葉県	令和8年度公立入試の変更点及び各校の検査内容	3
資料③	千葉県公立高校の旧調査書	11
4. 文部科学省	経年変化分析調査結果から	4
資料④	令和7年度全国学力調査結果	12

会員限定情報「北斗通信」
令和7年8月12日
岩佐教育研究所
TEL048-688-4698
FAX048-675-0219
E-mail shohokuto@gol.com
無断転載を禁じます。

1. 埼玉県 令和9年度入試からコンピュータ採点導入へ

資料① 埼玉県 令和9年度入試からの解答用紙・マークシート

埼玉県教育局は、7月24日に令和9年度入試の今後の予定と、9年度入試から実施するマークシートによるコンピュータ採点の概要を発表した。

既に、9年度入試での

① 「入学者選抜の日程について」教育委員会報告・公表 7月

② 「学力検査問題について」教育委員会報告・公表 (←本件)

ア 調査書の様式変更と自己評価資料の提出 調査書の記載項目は「各教科の学習の記録」(9教科5段階の評定)、「総合的な学習の時間の記録」とする。

イ 全ての受検生が、自己評価資料を提出する。

ウ 面接を全ての受検生に実施 自己評価資料を参考に、全ての受検生に個人面接又は集団面接を実施する。受検生がこれまでの自分の体験を振り返り、力を注いだことや努力したこと、また高等学校入学後や将来取り組んで

みたいこと、自己PRなどについて、自らの言葉で表現する。

エ 選抜の特色化(共通選抜と特色選抜の導入) 県教育委員会が定める方法で選抜する共通選抜と、学科等の特色に応じて各高等学校が定める方法で選抜する特色選抜を実施する。

③ 出題内容及び出題形式について

(1) 出題内容 ・ 出題の基本方針等は、原則、現行どおりとする予定である(令和8年5月公表予定)。

(2) 国語の作文は、出題しない。・英語のリスニングは、実施予定。

(3) 出題形式 ・ 学力検査・追検査において、解答方法にマークシート方式を導入する。各教科での出題形式の割合は、得点に換算して、マークシート方式の問題が9割程度、記述式の問題が1割程度とする。

(4) その他 ・ 障害のある受検生に対する配慮や、怪我や病気等によ

り学力検査等実施上の配慮が必要な場合などは、解答方法を変更することもある。

- (5) 学力検査におけるマークシート方式の導入 学力検査・追検査において、解答方法にマークシート方式を導入する。令和9年度入学者選抜（令和8年度末に実施）の学力検査・追検査において、マークシート方式の問題及び記述式の調査書の変更

と発表しているが、今回の発表は、具体的なマークシートの例を提示したもの。記述部分

進学率は99.1%と過去最高率だった4年3月から連続年で0.1%減少しています。6年度入試では、中学卒業生の719人の減少に対して、公立は800人の定員を減少しています。さらに7年度では、280人の在籍減に対して、120人の定員減を実施します。6年度の実質で、65対35の公私間比率は、61.7対29.5となっていました。5年度の4校の統合再編の実施、6年度では、8年度からの12校の統合再編の前段として6校の募集停止を実施しました。これによって、低位の学校、募集困難校は、統合されました。60対30 県外10の比率に近づいてきました。

2. 東京都 令和7年3月公立中学卒業生の進路状況(速報値)

資料② 令和7年3月公立中学校卒業生の進路状況

東京都教育庁は7月31日、令和7年3月都内公立中学卒業生の進路状況調査をまとめた。

公立中学校の卒業生は、前年より59人減少し78,901人となり、高等学校進学率は98.4%で前年より0.1%上昇した。平成27年度卒業生の98.6%がこれまでの最高となっている。

全日制への進学者は68,204人で、進学率は86.4%で、前年より79人減少し、率としては0.04%下降していた。

うち、都立高校全日制への進学者は、38,780人、都内私立高校へは25,698人進学し、全日制進学者に対する比率は56.9対37.7となっていた。尚、都外は、0.5だった。

の割合を減らし、これについては、手作業による採点にするものと見られる。

面接に関わる教員の負担の軽減と学校ごとの採点の公平を期すことを目的としているようだ。

近隣都県では、東京都が令和3年度入試から、千葉県が令和7年度入試から、神奈川県が令和8年度以降で検討。群馬県が令和6年度入試から、茨城県が令和5年度入試から既に解答方式のマークシート化とコンピュータ採点が実施されている。

⑨

都内私学への進学者は、前年より1,143人の増加となっていた。

一方、都内生の都外全日制への進学者は3,439人で181人増加した。また、定時制進学者は、2,740人で89人減少、通信制は、5,617人で、163人増加した。就職者は、98人、海外転出を含むその他の者は697人となっている。

都立希望者の急激な減少(約1,400人)と都内私学の増加(約1,100人)は、私学への授業料補助の49万円への増額がもたらしたものと見られる。また、通信制進学者の増加(160人)は、やや底打ちになったように感じられる。

都内の公立中学校の卒業生数は、平成27年に78,932人といつたんの最近10年でのピークを迎えたが、その後、令和2年春の73,850人までで5年連続で減少となっていました。3年度から増加に転じており。これは今後2年間は続く見込みとなっています。

通信制高校への進学者は、平成25年の1,160人から10年連続で増加しており、今春では、5,617人と、前年より163人増加していました。

都内卒業生に対しての授業料支援の増額49万円と上限の撤廃が、進路全体に関わってきていることを強く感じさせる結果となっています。

まだ決定していませんが、全国で私学入学者に対する就学支援金の増額が図られた際のシミュレーションともいえる結果と思われます。

3. 千葉県 令和8年度入試の変更点及び各校の検査の内容について

資料③ 千葉県公立高校の令和7年度入試までの調査書

前年12月に発表された千葉県公立高校の入試の改善点は、配慮の必要な生徒の心理的負担等とならないよう、調査書の記載項目を精選する。削除する項目は、以下の4点。

- ・総合的な学習の時間の記録
- ・出欠の記録
- ・行動の記録(第3学年)
- ・総合所見

なお、令和7年度入学者選抜において、不登校経験を有する生徒について、在籍する学校における出席の状況のみをもって不利益な取扱いをしないこととしている。また、欠席が多い理由について説明するために、自己申告書を提出することができる。自己申告書が提出されたことによって不利益な取扱いをすることはない。

学力検査「国語」における「放送による聞き取り検査」の見直し(令和9年度入学者選抜から)

本県の令和6年度入学者選抜では、「話すこと・聞くこと」の領域に関して、「放送による聞き取り検査」のみで出題していた。

「放送による聞き取り検査」に代わり、話し合いの場面等を設定した文章による出題とすることで、「話すこと・聞くこと」の領域に関する資質・能力を複数の問題から、見取ることができるようとする。

令和8年度入試での各校の検査の内容

全日制一般募集では、出願に当たり「志願理由書」の提出を求める学校が3校3学科ある。薬園台・園芸、君津・園芸、幕張総合・看護

また、受検2日目に学校設定検査が実施される。

学力検査が3教科の定時制課程(16校中6校)では1日目に実施となる。

学校設定検査では、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査、その他として思考力を問う問題などの検査が全校・全学科で実施される。

学校選択問題(全日制)で「思考力を問う問題」は、県立千葉、千葉東が取りやめ、東葛飾で実施される。検査時間内で、国語・数学・英語の教科ごとの小問を、より正確に理解し、より深く思考する力が問われるようだ。

また、面接と自己表現、作文など複数の課題を採用する学校も9校13学科ある。

学校設定検査では、面接が 73 校 118 学科、自己表現が 43 校 58 学科、作文が 10 校 16 学科、適性検査が 8 校 12 学科などとなっている。

※くくり募集も複数学科として計算

検査の結果は、調査書等の書類審査を含め、得点化し、総合的に合否を決定するとされている。

例年 9 月中旬に発表される「入学者選抜実施要項」で学校ごとの得点化の方法が明示される。

4. 文部科学省 経年変化分析調査結果及び全国学力調査結果から

資料④ 令和 7 年度全国学力調査結果から

7 月 31 日子供たちの学力の変化を見る「経年変化分析調査 2024」の結果が公表された。調査は、3 年毎の実施で抽出された。

前回の調査は、2021 年(令和 3 年)だった。全ての小学校 6 年生と中学 3 年生に対して実施されている全国学力調査とは異なる。

抽出されたのは、小学校 6 年生 3 万人で国語と算数、中学 3 年生 7 万人に国語と数学と英語となっている。また、問題は非公表とされ、前回とほぼ同じとされていた。

これまで、専門家会議などで報告されてきたが、文部科学省が「広く課題の検討が必要」として発表されている。

結果は、500 を基準とするスコアで示され、全教科で成績が下がっていた。

小学校 6 年生

国語 489.9(▲15.9) ポイント
算数 486.3(▲20.9) ポイント

中学 3 年生

国語 499.0(▲12.7) ポイント
数学 503.0(▲8.0) ポイント
英語 478.2(▲22.9) ポイント

下がった原因について文部科学省は、明確には示せないとする一方で、中学 3 年生の英語はコロナ禍が影響した可能性を挙げていたようだ。

同時に実施した、保護者へのアンケート調査から、家庭での学習時間が減っていることやスマホやゲームに流れる傾向を指摘していた。

また、同日付で全国学力調査の 7 年度の結果が発表された。同じく小学校 6 年生と中学 3 年生の調査だがこちらは、全員に対する悉皆調査となっている。

調査教科は、小学校 6 年生が国語・算数・理科で、中学 3 年生が国語・数学・理科となっていた。比較は前年度がが理科は一昨年度となる。

小学校 6 年生

国語 67.0%(67.8%)
算数 58.2%(63.6%)
理科 57.3%(63.4%)

中学 3 年生

国語 54.6%(58.4%)
数学 48.8%(53.0%)
理科 IRT505(49.7%)

但し、全国学力調査では、年度によって難易度の調整はしていないため過年度結果と単純比較することは適当でないが、求める正答率に対しては、やや低下しているようにも感じられる。

閑話休題

埼玉の7年3月の中学校・高等学校の進路状況調査の発表が20日ほど遅れています。東京都で発表された中学校卒業生の進路状況調査では、都立への進学者は1,436人減少していました。都内私学への入学者が1,143人増加し、他県へは181人増加しています。通信制が161人増加していますので、都立希望者の減少後の振り分けが見える結果となっていました。

但し、一般募集の出願者が2,800人減少しているのに対して、彼らの行先は見えてきません。

都の私立進学者に対する授業料支援の49万円は、私学の授業料平均値とされています。埼玉では、総務部で調査した平均の授業料は、約41万円ですので、平均8万円都内の方が高くなっています。

現在、国で検討されている就学支援金の45万7千円への上昇は、県をまたぎ効果があると思われますが、都内の結果で見る通り、公立にとつては、厳しい結果になると思われます。

入試ファスト浦和、川口、ふれあい浦和、川口、彩の国進学フェアが順調に推移し、8月中旬に埼玉私学協会のフェア川越、大宮、東京私学展など大規模なフェアが実施されます。就学支援金の増額の予定は、私学への関心を高めているようでいずれも盛況が予想されています。

彩の国進学フェアの会場では、9時半の開場直後から、私学ブースに行列ができていました。例年ですと、まず公立ブースに集まり、30分後ぐらいから私学ブースに並ぶ光景が一般的でしたが、少し景色が変わってきたような気がしています。

公私いずれにせよ目指す学校に巡り合ってもらいたいものだと思います。

学力検査におけるマークシート方式の導入

学力検査・追検査において、解答方法にマークシート方式を導入する。

令和9年度入学者選抜（令和8年度末に実施）の学力検査・追検査において、マークシート方式の問題及び記述式の問題による学力検査を実施する（学校選択問題*を含む）

解答用紙の例（サンプル）

学力検査問題のサンプル例（1）

※このサンプルは、令和3年度から5年度入学者選抜までに実施した学力検査問題を基に作成しています。解答方法をマークシート方式に変更し、一部サンプル問題として示しています。

国語

(令和4年度入試追検査より)

エ ウ イ ア

小学生が中学校を感じられるように、地域の話題を題材にしておこなっています。

。小学生にも分かるように、自分の意見を述べずに事実だけを書きこまつてしまっている。

。中学校の良い点を伝えるために、中学校の魅力の根柢を具體的に書いておこなっています。

問 4

① ② ③ ④ ⑤

「やんばる」や「マツ」などの特技を見つけてください。
私たちの学校には、生徒一人ひとりが輝ける行事がたくさんあります。体育祭では

【消書】

い自分を見つけることができるのです。
私たちの学校では、体育祭や文化祭など、一人ひとりが活躍できる行事がたくさんあります。行事を通じて新しく

【下書き】

切なものを見つけることができます。
から【消書】のように書き直しました。——部を——部によつて書き直した意図としては最も適切なものを、次のマークの中から一つ選び、その記号を答えなさい。(3点)

問 4 Aさんたちは、「中学校生活のガイドブック」に掲載する在校生の感想を、次の【下書き】

問 2

① ② ③ ④ ⑤

ウ ウ

現状をイジります。

エ エ

橋のホジュウ工事をする。

イ イ

ホケンをかけら。

エ エ

周囲の環境を清潔にタモつ。

ウ ウ

青春をネンシヨウしつくす。

イ イ

ダイヤはテンネンに産出する。

エ エ

勝利へのショウネンの大掃除をする。

ウ ウ

目標を日々ネントウにおいて活動する。

イ イ

商品がホウブイにある。

エ エ

法律をフコクする。

ウ ウ

防災にはフタソから気をつかつていて。

イ イ

小銭をサイフに入れる。

エ エ

商品のカバウチを高める。

ウ ウ

防災にはフタソから気をつかつていて。

イ イ

消防署はフタソから気をつかつていて。

ウ ウ

消防署はフタソから気をつかつていて。

イ イ

消防署はフタソから気をつかつていて。

ウ ウ

学力検査問題のサンプル例（2）

※このサンプルは、令和3年度から5年度入学者選抜までに実施した学力検査問題を基に作成しています。
解答方法をマークシート方式に変更し、一部サンプル問題として示しています。

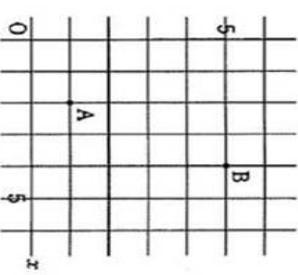
数学

（令和4年度入試学力検査より）

先生「次の設定を使って、確率の問題をつくってみましょう。」

設定

座標平面上に2点A(2, 1), B(4, 5)があります。
1から6までの目が出る1つのさいころを2回投げ、
1回目に出了目の数をs, 2回目に出了数をtとするとき、座標が(s, t)である点をPとします。
ただし、さいころはどの目が出ることも同様に確
からしいものとし、座標軸の長さを1cmとします。



【Eさんがつくれた問題】

3点A, B, Pを結んでできる図形が三角形になる場合のうち、 $\triangle ABP$ の面積が
 4 cm^2 以上になる確率を求めなさい。

(1) 下線部について、直線ABの式として正しいものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を答えなさい。（4点）

- ア $y = -\frac{1}{2}x + 2$ イ $y = \frac{2}{5}x + 2$
ウ $y = 2x - 3$ エ $y = 2x - 1$

(2) □あ□, □い□, □う□の中の「あ」, 「い」 「う」 においてはまる数字をそれぞれ0~9の中から一つずつ選び、その数字を答えなさい。（4点）

(1)

⑦ ⑧ ⑨ ● ⑩

(2)

あ ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

(2)

い ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

う ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

Rさん「この問題は、三角形になる場合のうち、しているから、注意が必要だね。」
Kさん「点Pが直線AB上にあるときは、3点A, B, Pを結んでできる三角形にならない、
からね。」
Fさん「この問題だと、点Pが線分ABと重なるときは、三角形にならないね。」
Kさん「三角形にならない点Pは□あ□個あるから、三角形になる場合は全部で
□い□通りになるね。」
Rさん「そのうち、 $\triangle ABP$ の面積が 4 cm^2 以上になる点Pの個数がわかれれば、確率を求
めることができそうだね。」

今後のスケジュール

(1) 今後の予定

(学力検査に関する説明会等)

令和7年 8月 中学校教員向け 入学者選抜サンプル問題等説明会 開催

12月 「各高校の選抜実施内容（暫定版）」公表

令和8年 3月 中学校教員向け 選抜実施内容説明会

5月 「入学者選抜実施要項・選抜要領」決定・公表

「各高校の選抜実施内容」決定・公表

7月 中学校教員向け 入学者選抜説明会 開催

高等学校教員向け 入学者選抜説明会 開催

(2) 令和9年度入学者選抜の日程

令和9年2月25日（木） 学力検査

2月26日（金） 面接（全ての学校）

3月 1日（月） 特色検査（一部の学校）※2月26日に実施する場合もある

3月 2日（火） 追検査

3月 5日（金） 入学許可候補者発表

東京都公立中学校卒業生の進路状況調査の概要

項目	卒業年度		平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	(単位:人)
	卒業者計	78,894	78,023	77,383	76,246	73,847	77,188	78,493	78,960	78,901	△ 59	
(1) 進学者	77,688	76,831	76,181	75,115	72,756	76,050	77,238	77,598	77,660	77,660	62	
(進学者のうち就職している者を含む。)	(98.47)	(98.47)	(98.45)	(98.52)	(98.52)	(98.53)	(98.40)	(98.28)	(98.43)	(98.43)	(0.15)	
高 等 学 校	全 日 制	71,253	70,823	69,776	68,315	65,731	68,204	68,721	68,283	68,204	68,204	△ 79
都内	公立	42,452	41,539	41,237	40,136	38,341	39,121	40,153	40,216	38,780	38,780	△ 1,436
私立	25,207	25,548	25,058	24,723	24,134	25,570	25,003	24,555	25,698	25,698	25,698	1,143
國立	263	314	269	275	269	293	269	254	287	287	287	33
都外(他県)	3,331	3,422	3,212	3,181	2,987	3,220	3,296	3,258	3,439	3,439	3,439	181
定 時 制	3,134	2,571	2,523	2,561	2,283	2,580	2,635	2,829	2,740	2,740	2,740	△ 89
内 訳	都 内	(3.97)	(3.30)	(3.26)	(3.36)	(3.09)	(3.34)	(3.36)	(3.58)	(3.47)	(3.47)	(△ 0.11)
都外(他県)	3,109	2,545	2,519	2,544	2,269	2,553	2,607	2,793	2,708	2,708	2,708	△ 85
内 訳	就職している者	25	26	4	17	14	27	28	36	32	32	△ 4
内 訳	就職していない者	26	21	25	35	23	5	2	3	6	6	3
通 信 制	2,169	2,356	2,890	3,301	3,735	4,221	4,831	5,454	5,617	5,617	5,617	163
内 訳	都 内	(2.75)	(3.02)	(3.73)	(4.33)	(5.06)	(5.47)	(6.15)	(6.91)	(7.12)	(7.12)	(0.21)
都外(他県)	1,449	1,253	1,364	1,453	1,539	1,763	1,669	2,208	1,941	1,941	1,941	△ 267
内 訳	＜再掲＞都外のうち広域通信制	720	1,103	1,526	1,848	2,196	2,458	3,162	3,246	3,676	3,676	430
内 訳	就職している者	5	13	16	21	20	5	17	15	23	23	8
内 訳	就職していない者	2,164	2,343	2,874	3,280	3,715	4,216	4,814	5,439	5,594	5,594	155
特別支援学校高等部	1,132	1,081	992	938	1,007	1,045	1,051	1,032	1,099	1,099	1,099	67
(1.43)	(1.39)	(1.28)	(1.23)	(1.36)	(1.35)	(1.34)	(1.31)	(1.39)	(1.39)	(1.39)	(1.39)	(0.08)
(2) 専修学校等入学者	456	495	503	441	497	474	480	573	438	438	438	△ 135
専修学校	(0.58)	(0.63)	(0.65)	(0.58)	(0.67)	(0.61)	(0.61)	(0.73)	(0.56)	(0.56)	(0.56)	(△ 0.17)
各種学校	354	416	407	369	412	377	416	478	378	378	378	△ 100
公共職業能力開発施設等	84	64	80	54	74	90	56	86	59	59	59	△ 27
(3) 就職者等	18	15	16	18	11	7	8	9	1	1	1	△ 8
在家庭者	532	487	526	520	473	563	662	686	697	697	697	11
内 訳	進学希望	(0.67)	(0.62)	(0.68)	(0.68)	(0.64)	(0.73)	(0.84)	(0.87)	(0.88)	(0.88)	(0.01)
就職希望	392	359	393	412	370	452	504	517	516	516	516	△ 1
その他(進学・就職希望以外)	256	234	248	268	243	272	318	381	343	343	343	△ 38
在家庭者以外の者	140	128	133	108	103	111	158	169	181	181	181	12
内 訳	海外転出	(0.18)	(0.16)	(0.17)	(0.14)	(0.14)	(0.20)	(0.21)	(0.23)	(0.23)	(0.23)	(0.02)
海外転出以外	115	113	114	97	79	93	143	163	157	157	157	△ 6
(5) 不詳・死亡	5	3	8	-	1	4	2	4	8	8	8	4
(0.01)	(0.00)	(0.01)		(0.00)	(0.01)	(0.01)	(0.00)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.00)

(注) 1 ()内は割合(%)を示す。

2 構成比については、小数点以下第3位を四捨五入したため、各構成比率を合計しても100.0にならない場合がある。

3 (1)「進学者」のうち「高等学校全日制」進学者には、高等学校別科及び高等専門学校進学者を含む。

4 (1)「進学者」のうち「高等学校通信制」については、本校の所在地に基づいて「都内」と「都外(他県)」の区別を行っている。

5 平成28年度まで(4)「その他の者」の「在家庭者」のうち、「その他(進学・就職希望以外)」に含まれていた「有期雇用労働者(フルタイム勤務相当以外)」(例:パート、アルバイト)及び「臨時労働者」(例:日雇い労働者)は、学校基本調査の調査項目変更を踏まえて、平成29年度から(3)「就職者等」に含まれている。

6 (4)「その他の者」の「在家庭者」のうち、「その他(進学・就職希望以外)」の内訳は、「家事・家業手伝い」、「病気療養中」、「進路未定(検討中)・不明」、「フリースクール等通学」等である。

7 (4)「その他の者」の「在家庭者以外の者」のうち、「海外転出以外」の内訳は、「少年院・児童自立支援施設」、「フリースクール等入所」等である。

千葉県 公立高校調査書 旧

様式1 (A4判縦長)

調査書

受検番号 *	ふりがな 氏名	性別	学籍の記録	平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学							
				平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業							
教科の学習の記録	教科 学年	必修教科の評定									
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	合計
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
	全学年の計										
	備考										
時総間合的記録学習の記録	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
出欠の記録	学年	欠席日数	欠席の主な理由等								
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
行動の記録 (第3学年)	基本的な生活習慣		健康・体力の向上		自主・自律		責任感		創意工夫		
	思いやり・協力		生命尊重・自然愛護		勤労・奉仕		公正・公平		公共心・公徳心		
特別活動の記録	学級活動										
	生徒会活動										
	学校行事										
部活動の記録											
特記事項											
総合所見											

本書の記載事項に誤りがないこと及び貴校に応募する資格があることを証明する。

中学校長

印

令和 年 月 日

記載責任者 職 氏名

1. 令和7年度全国学力・学習状況調査の概要-1

調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、**
- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査概要

調査実施日		令和7年4月14日(月)～17日(木)					
調査対象		小学校6年生、中学校3年生					
調査事項		①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕 / 質問調査 ②学校：質問調査					
調査問題		・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。 ・「主体的・対話的で深い学び」の観点からの授業改善のメッセージを発信。					
今年度の調査の特徴		・CBT調査の導入（中学校理科） ・生徒質問でのランダム方式の試行 ・多様な生徒の状況把握 ・結果公表の内容、スケジュールの改善					

調査対象及び集計対象児童生徒数・学校数

調査対象及び集計対象児童生徒数・学校数	小学校				中学校			
	調査対象児童数(※1)	集計対象児童数(※2)	調査対象学校数	集計対象学校数(※2)	調査対象生徒数(※1)	集計対象生徒数(※2)	調査対象学校数	集計対象学校数(※2)
公立	995,300人	936,576人	18,313校	18,269校(99.8%)	969,010人	871,097人	9,311校	9,272校(99.6%)
国立	6,313人	6,136人	75校	75校(100%)	9,982人	9,128人	80校	77校(96.3%)
私立	13,464人	6,596人	251校	126校(50.2%)	83,627人	16,560人	803校	235校(29.3%)
合計	1,015,077人	949,308人	18,639校	18,470校(99.1%)	1,062,619人	896,785人	10,194校	9,584校(94%)

(※1) 調査対象児童生徒数について、公立及び国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、令和6年度学校基本調査による。

(※2) 調査当日までに増減した可能性がある。

集計対象児童生徒数・学校数は、調査の実施日に調査を実施した数。集計対象児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科（小学

校：理科、中学校：数学）の解答用紙の枚数で算出。

1. 令和7年度全国学力・学習状況調査の概要-2

教科に関する調査結果概要

教科に関する調査の結果のポイント

【国語】

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題が見られた。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られた。
→文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉えること、伝えたいことの根拠を明確にして書くことを意識せることが重要。

【算数・数学】

- 数直線上の分数を捉えることや、百分率を倍を使って捉え直し表現することに課題が見られた。
- あらかじめ書かれている図形の証明を評価・改善することに課題が見られた。
→基準となる数を見いだし数量の関係を捉えさせることや、数学的な用語や表現について知識の習得と習得した知識を活用する活動を行なうことが重要。

【理科】

- 電気が通る回路を実際の生活の中でつくることに関する理解に課題が見られた。
- 化学変化を原子や分子のモデルで表すことに課題が見られた。
→問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、学習を通して身に付けた知識を活用することができるよう指導の充実が重要。

◆全国（国公私）の平均正答数・平均正答率・平均IRTスコア（※）

※中学校理科はCBTで実施し、IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表している。本資料では、中学校理科のスコアに関する表・グラフを水色で表している。

		小学校			中学校		
		国語	算数	理科	国語	数学	理科
令和7年度		9.4/14問 (67.0%)	9.3/16問 (58.2%)	9.7/17問 (57.3%)	7.6/14問 (54.6%)	7.3/15問 (48.8%)	505
【参考】令和6年度 (理科は令和4年度)		9.5/14問 (67.8%)	10.2/16問 (63.6%)	10.8/17問(63.4%)	8.8/15問 (58.4%)	8.5/16問 (53.0%)	10.4/21問(49.7%)

(※) 各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果と単純に比較することは適当ではないことに留意が必要。